冬を安全に……
火の元にご注意を

千五百七十三人――これは昨年九月末日現在での火災による死者数です。一方県内では、十月末日までに三十四人もの人が火災によって尊い命を失っています。

近年、幼児や老人の犠牲者も多く、全死亡者数の四割をこえています。これから本格的に暖房器具が使われる季節です。火の元には十分注意しましょう。また暖房器具はよく整備されたものを用い、使用目的以外には使わないようにしましょう。

記録的な暖冬ですが、この冬は一時大雪が降るとの予報もでています。冬期間は、積雪によって住宅が半密閉状態になり、避難所がふさがれがちになります。

雪が多い場合には、常に除雪を行って避難口を確保しましょう。また幼児や老人は、避難しやすい場所に寝かせるようにしましょう。

電線にも気をつけて

雪が積もると、重みで電線が切れたりすることがあります。絶対に触れたり、踏んだりしないですぐ電力会社へ連絡しましょう。

また電線の近くでのタコあげなどは危険です。子どもたちに注意してあげてください。タコが電線にひっかかったときは電力会社へ連絡しましょう。

地域ぐるみで活動を盛り上げ

さきごろ荻川地区の青少年健全育成推進委員会では、健全育成の標語をかいた標柱を各所にとりつけて、地域ぐるみの活動を盛り上げています。〝親も子も意見を出し合う明るい家庭〟などの標語は、いずれも地区の人たちがつくったものです。

明るい家庭づくり12章

第10章　何ごとも気安く話す子に育て

1. 子どもの話をよく聞きましょう。子どもは自分の考えを発表したり、またいろいろな質問をしたがるものです。そういうときによく話を聞き答えてやれば成長してからも何でも話すようになるものです。
2. 親子の話し合いは〝危険予知のアンテナ〟です。話し合いは子どもを理解するための受信装置と心得ましょう。日時をきめみんなで話し合える機会をつくりましょう。

第11章　どの子でもみんなわがやの大事な子

1. 冗談でも「余けいもの」などと言わないようにしましょう。
2. 偏愛にならないようにしましょう。

第12章　子は十色、みなそれぞれの花が咲き

1. 同じ兄弟姉妹でも顔も違えば性格も違います。どんな子どもでもとりえはあるものです。それぞれの得意を認めてやることが大切です。日常の生活中で、それに向くようなことをさせ、できたときはうんとほめてやりましょう。

昨年一年間で――
十三万冊あまりを貸出し

日宝町に建てられた新しい図書館がオープンしてから一年半過ぎました。ところで、このほど昨年(十一月末まで)の利用状況がまとまりました。

それをみますと、個人向け貸出し冊数は十三万六百冊あまりで、延べ利用者数は、なんと五万六千人近くという結果が出ました。

新図書館は市民の総合的な〝情報・文化センター〟ともいうべきところです。今年もどんどんご利用ください。

では、ここで図書館の利用案内をしましょう。

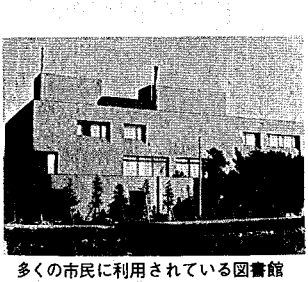
□開館時間…毎日午前九時三十分から午後六時まで(土曜日も)。ただし、水曜日は午後八時まで開館しています。

□休館日…日曜日、祝日、年末年始(十二月二十八日から一月四日まで)、月末整理日(毎月末)

□貸出し冊数…一人三冊以内

□貸出し期間…二週間以内

※なお本を借りる場合には、登録して貸出券の交付を受けてください。そのさいは、免許証や生徒手帳など身分を証明するものをお持ちください。


多くの市民に利用されている図書館

〝教育映画祭〟にお出かけを

今年度の「教育映画祭」で選ばれた優秀作品を集めて映画祭が開かれます。ぜひお出かけください。

▶とき…1月15日の午後1時から4時まで
▶ところ…視聴覚センターホール(図書館内)
▶内容…第一部（小・中学生向け　午後1時から2時10分まで）①しあわせの王子②富士川をさかぼって③雷鳥の四季
第2部（一般向け　午後2時20分から4時まで）①母さんは歌ったよ②縄文土器③となりの立場、うちの立場

※入場は無料で第1部、第2部とも定員は150人です。1月7日から図書館のカウンターで整理券を配布しますので、それを持参のうえご入場ください。

お買物、ご用命は市内で

賀正　表具
鈴木一心堂
一級技能士 訓練指導員 鈴木正義　本町3☎2-2035

謹賀新年
内科・小児科・レントゲン科
大坂医院
新町1丁目6-12　TEL(4)5122